

全国ネットワーク会議

病気の子どもと家族のための滞在施設運営についての全国会議が、一月二十一日九州大病院（福岡市）で開かれました。

この全国会議は、年に一度滞施設（ファミリーハウス）の運営に関わる団体、ボランティア、個人が参加して開かれるもので、今年七回目の開催となりました。

七回目の会議は、NPOファミリーハウス（東京）と活動十周年を迎えた福岡ファミリーハウスが主催して行われ、全国各地から運営団体、ボランティアなど一〇〇名余りの参加があり、北海道ファミリーハウスから金田耕二・中村真一の二名が参加しました。

寄付・助成金・寄贈品

平成十七年度、北海道ファミリーハウスに寄せられた助成金、寄付金、寄贈は左記の通りです。

- ① 寄付・助成金
 - （株）日本地建様 : 一万円
 - 札幌わかさ幼稚園PTA様 : 一万円
 - 中村記念病院看護学校職員一同様 : 一万円
 - 北海道労働金庫様 : 一万二千元
 - （財）ドナルド・マクドナルド・ハウス様 : 三十万円
 - （財）ドナルド・マクドナルド・ハウス様 : 二十万円
 - （財）札幌信用金庫社会福祉基金様 : 五万円
 - （社）北海道共同募金会様 : 十万円
- ② 寄贈
 - 花王（株）様 : 紙おむつ・洗剤
 - （株）味の素 : 食品詰め合わせ

■皆様の善意に心から感謝申し上げます■

皆様から頂戴しました寄付・寄贈品

につきましては、ファミリーハウス

運動の中で活用させて頂いております



平成十八年度の事業（活動）計画

■責任ある事務局体制の確立をめざして

○役員およびボランティアの役割分担を行い円滑な事務局運営と責任ある体制をめざします。

○情報の共有化を図るため理事長・副理事長を含めたスタッフ会議を定例化します。

○利用者の対応、マスコミ等の外部からの問い合わせに対応できるよう資料の整備を図ります。

○運営体制の充実と、ボランティアの負担軽減に向けて引き続きボランティア募集に取り組みを行います。

○情報のデータベース化、資料の保存性と有効活用、情報発信および収集、電子メール確認など、パソコンシステムを活用した業務を推進します。

■安定した財政基盤の確立に向けて

○財政基盤の充実と社会的認知度の向上に向けて、個人会員および法人会員拡大に取り組みます。

○助成金・寄付金の提供を受けるため情報収集を行い、内容を検討のうえ積極的に申請を行います。

■オーナー・ホテル等との連携強化をめざして

○将来的なファミリーハウス運動のあり方を見据え、滞在日数から捕らえたオーナー物件の充実とホテルのすみ分けにあわせ、運営マニュアルの定着に向けて取り組みます。

○利用条件や物件設備（設備、料金、病院との距離、交通など）の把握を行い、利用者へよりきめ細かな情報提供に努めるとともに、登録基準に準拠したオーナー登録に向けて対応します。

○道内外に組織する同種活動との情報交換を通じて、将来のネットワーキングに向けた信頼の醸成に取り組みます。加えて、新たに活動をはじめの方へノウハウの提供を行います。

○備品の貸し出しを行い、オーナーの負担軽減と利用者の利便性向上を図ります。

■社会的信頼と社会的評価の確立をめざして

○新聞・テレビ・ラジオ・地域コミュニティ放送などを通じた広範なPR、広報活動に積極的に取り組みます。

○会員の継続性や活動の透明性確保を図るため定期広報誌「ファミリーハウス通信」等による情報提供を行います。

○ホームページのメンテナンスを常に行い、より有用な情報提供を行います。

○企業の社会貢献を促し、本運動への理解活動を深めるため経済団体や企業への働きかけを行います。

■NPO法人化発起人会の設置

ファミリーハウス運動の社会的認知度を高め、組織として信頼性・透明性を確保し、責任の所在明確にするため、北海道ファミリーハウスで培った様々なノウハウを活かし、NPO法人化を図るため、総会終了後速やかに発起人会を設立します。

なお、NPO法人設立にあたっては、専門機関のサポートを受けることとします。